



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 リーダー電子株式会社  
 コード番号 6867 URL <https://www.leader.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 行造

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 梶川 元靖

TEL 045-541-2121

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,541	14.6	119	203.2	117	149.0	98	416.5
2019年3月期第2四半期	1,345	19.9	39		47		19	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 88百万円 (577.3%) 2019年3月期第2四半期 13百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	27.73	27.32
2019年3月期第2四半期	5.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	5,079	3,348	65.6	928.46
2019年3月期	4,303	3,306	76.7	930.04

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,332百万円 2019年3月期 3,300百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	18.1	520	60.5	525	56.2	470	51.0	132.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,199,001 株	2019年3月期	4,191,801 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	609,249 株	2019年3月期	642,512 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,554,197 株	2019年3月期2Q	3,538,218 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は堅調に推移したものの、大企業・製造業の業況判断が3四半期連続で低下し、景気停滞が懸念されております。

また世界経済においては、米中間の貿易摩擦問題の長期化による中国経済の減速懸念や英国のEU離脱等に関する不確実性から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループが関連する放送業界におきましては、国内では引き続き4K映像フォーマット対応関連設備の需要が好調に推移いたしました。また中国及び欧州でも4K映像フォーマット対応関連設備が好調に推移し、さらに東南アジアなどにおいてフルハイビジョン(2K)放送への移行に伴う需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,541百万円(前年同期比14.6%増)、経常利益117百万円(前年同期比149.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円(前年同期比416.5%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループの事業が電気計測器の開発と製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる売上高の品目別内訳及び地域別内訳は次のとおりであります。

## &lt;品目別内訳&gt;

## ① ビデオ関連

4K映像フォーマット対応関連機器につきましては、国内及び中国、欧州において販売が好調に推移いたしました。フルハイビジョン(2K)対応関連機器の販売につきましては、アジアなどにおいて堅調に推移したことにより、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は1,331百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

## ② 電波関連

テレビの電界強度測定器の需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は136百万円(同19.5%増)となりました。

## ③ その他

汎用計測機器・修理・部品等であり、特記すべき事項はありません。

売上高は74百万円(同12.8%増)となりました。

## &lt;地域別内訳&gt;

## ① 日本

日本国内におきましては、4K映像フォーマット対応関連機器などをはじめとする主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は1,070百万円(同22.1%増)となりました。

## ② 北米・中南米

北米・中南米におきましては、主力の放送関連機器の販売が停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は92百万円(同22.7%減)となりました。

## ③ アジア

アジアにおきましては、中国を中心に主力の放送関連機器の販売が堅調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は265百万円(同2.3%増)となりました。

## ④ その他

その他の地域におきましては、4K映像フォーマット対応関連機器などをはじめとする主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は113百万円(同26.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ775百万円増加し、5,079百万円となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が588百万円、商品及び製品が291百万円増加したことなどによるものであります。

現金及び預金の増加理由といたしましては、7月末に連結子会社リーダー・ヨーロッパ・リミテッドによるPhabrix Limited買収を行うため、当社より757百万円の貸付けを行いました。これにより当社の運転資金を確保するため短期で800百万円の銀行借入を行いました。また、連結子会社への貸付金については連結子会社の決算期が12月期決算であり、買収が発生した7月は連結子会社の第3四半期となるため、買収関連の連結決算反映が第3四半期となり貸付けた金額が現金及び預金として計上されております。

商品及び製品の増加理由といたしましては、下期売上に対応するため戦略的に在庫を増やしたためであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ733百万円増加し、1,731百万円となりました。増加の主な要因は、短期借入金が800百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、3,348百万円となりました。自己資本比率は11.1ポイント減少し、65.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループが関連する放送業界におきましては、国内においては放送局のフルハイビジョン（2K）関連設備の更新需要に加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて高解像度を目指した4K放送への設備投資が継続されており、さらに、8K放送への設備投資も見込まれます。

海外においては欧州・中国では4K映像フォーマット対応関連設備の需要および映像信号のIP化への関連設備の需要が見込まれております。北米・中南米につきましては主力の放送関連機器の販売の停滞は一時的なもので、今後は堅調に推移すると見込まれております。さらにアジアでは、フルハイビジョン（2K）放送への移行の本格化に伴う設備投資の活性化が引き続き見込まれております。

当社グループにおきましては、新商品のオプション拡充および子会社となりましたPHABRIX社製品の販売により、更なる売上、利益の拡大に向け、国内外における営業力を強化させております。

今後も企業価値の向上に向けて、設備投資・研究開発投資・人材投資を積極的に推進してまいります。

なお、2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,785,745	2,373,997
受取手形及び売掛金	962,043	697,421
商品及び製品	234,246	525,671
仕掛品	40,407	64,677
原材料及び貯蔵品	139	697
短期貸付金	374,874	494,874
未収還付法人税等	0	0
その他	33,577	63,110
貸倒引当金	△2,505	△2,421
流動資産合計	3,428,530	4,218,030
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	468,911	461,443
土地	12,420	12,420
その他(純額)	96,299	91,051
有形固定資産合計	577,631	564,915
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	88,453	87,311
投資有価証券	64,061	55,165
繰延税金資産	92,775	96,311
生命保険積立金	35,790	37,331
その他	18,633	22,303
貸倒引当金	△1,970	△1,970
投資その他の資産合計	209,289	209,141
固定資産合計	875,373	861,368
資産合計	4,303,904	5,079,399

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	161,678	212,158
短期借入金	—	800,000
未払法人税等	55,231	23,014
賞与引当金	56,743	57,820
その他	214,199	161,873
流動負債合計	487,853	1,254,867
固定負債		
退職給付に係る負債	469,769	434,318
その他	39,760	41,832
固定負債合計	509,529	476,150
負債合計	997,382	1,731,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,163,233	1,167,135
資本剰余金	1,277,230	1,294,966
利益剰余金	1,224,764	1,234,573
自己株式	△198,364	△188,123
株主資本合計	3,466,863	3,508,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,008	1,547
為替換算調整勘定	△173,882	△177,165
その他の包括利益累計額合計	△165,873	△175,618
新株予約権	5,531	15,446
純資産合計	3,306,521	3,348,380
負債純資産合計	4,303,904	5,079,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,345,408	1,541,990
売上原価	469,069	493,969
売上総利益	876,339	1,048,021
販売費及び一般管理費	836,845	928,262
営業利益	39,494	119,758
営業外収益		
受取利息	196	2,363
受取配当金	1,178	1,313
受取家賃	6,480	6,480
貸倒引当金戻入額	4	—
その他	806	2,094
営業外収益合計	8,665	12,250
営業外費用		
支払利息	—	624
売上割引	619	372
為替差損	6	13,426
その他	335	49
営業外費用合計	960	14,473
経常利益	47,199	117,535
特別利益		
固定資産売却益	110	352
特別利益合計	110	352
特別損失		
固定資産除却損	0	129
特別損失合計	0	129
税金等調整前四半期純利益	47,310	117,758
法人税、住民税及び事業税	20,553	19,906
法人税等調整額	7,677	△690
法人税等合計	28,230	19,216
四半期純利益	19,079	98,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,079	98,541



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	19,079	98,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,812	△6,461
為替換算調整勘定	△4,156	△3,283
その他の包括利益合計	△5,969	△9,744
四半期包括利益	13,109	88,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,109	88,796
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。